

創建当初の写真（宮内庁蔵）

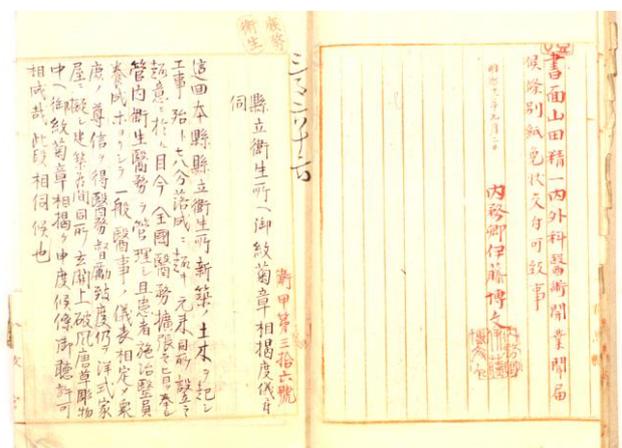
【 概 要 】

名称 重要文化財 きゅうぐんまけんえいせいじょ 旧群馬県衛生所
 建築年代 明治11年（1878年）8月竣工
 前橋市（現群馬会館位置）に衛生所兼医学校として建設
 移築 昭和3年9月相生村役場として現在地に移築（昭和4年2月に完成）
 構造 木造二階建 棧瓦葺（さんがわらぶき）
 建築面積 255.743㎡（延 511.486㎡）
 指定 重要文化財 昭和51年2月3日 附 棟札1枚
 保存修理工事

昭和59年1月から昭和61年3月にかけて半解体修理工事を実施、相生村役場時代に改変された部分を復旧し、創建当時の姿に整備した。
 平成2年、平成5年に外部塗装等の部分修理を行ない、平成15年2月から9月にかけて外部塗装、内部紙張り及び屋根の保存修理を実施した。



創建時 医学校開設伺



御紋章掲載伺

【 建物の特徴 】

小屋組は和風で外観の装飾をもって洋風とする、典型的な擬洋風建物である。

屋根は目地漆喰塗で、突針付の鬼瓦がついている。

部屋割は、一・二階とも、ほぼ左右対称である。

各部屋は独立し、ポーチ・ベランダから出入りするようになっている。

（管理上、仮設の扉を設けた。）

階段は一階の室内から二階のベランダに直接出るようになっている。

各部屋の天井・壁はすべて紙張である。

（管理上、一部は漆喰塗とした。）

出入口の扉は板戸で、玄関ホール、貴賓室のほかは四尺の片開戸である。

窓は上下窓で、カーテンの痕跡はなかった。

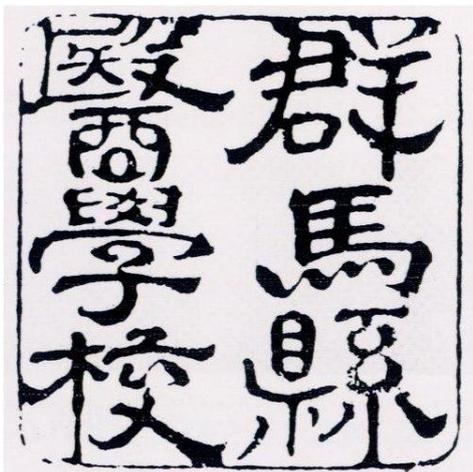
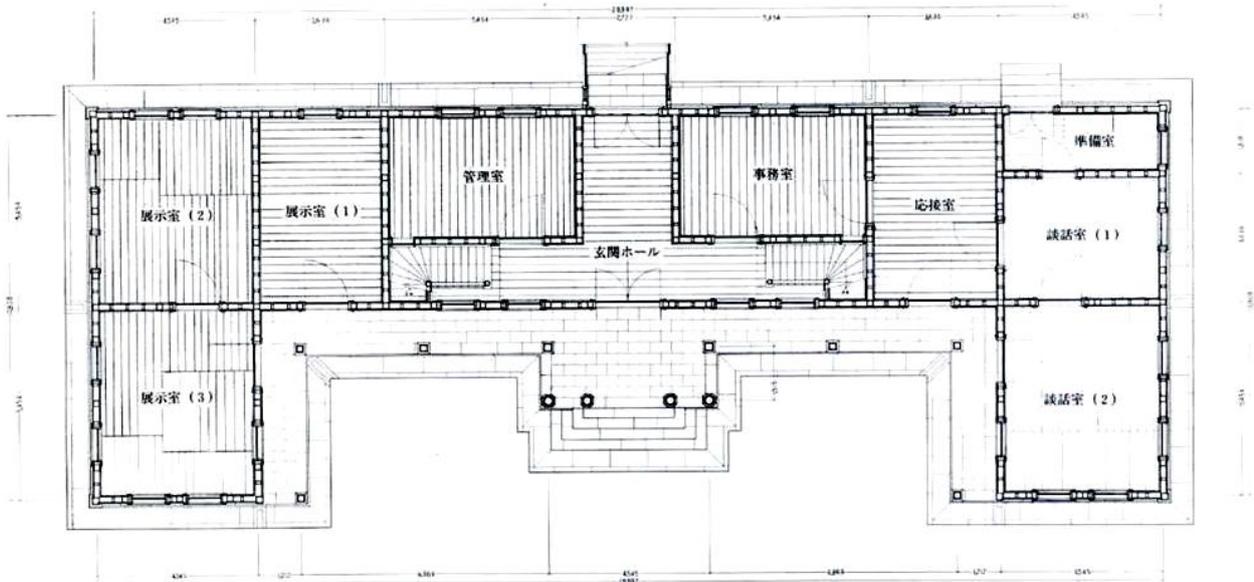
創建当時の家具調度品は不明である。

（各部屋のシャンデリアや、貴賓室の家具は復元したもの。）

外壁はペンキ塗で、幅木は弁柄塗（べんがらぬり）である。

（これらの色調については、残存する塗装から復旧した。）

正門・門柱・門扉は創建当時の写真をもとに復原した。



医学校校印



木摺版裏側より発見された文書

【 浴 革 】

明治7年1月	「衛生局」が熊谷に開局
9年5月	「衛生局」を「衛生所」と改称
	「熊谷県医学校」開校
8月21日	第二次群馬県設置
11年5月1日	「衛生所兼医学校」の新築工事着工
8月30日	「衛生所兼医学校」竣工
9月4日	明治天皇御巡幸に際し、天覧
12年1月	「衛生所」廃止
14年3月	県会にて医学校費全額否決
6月	「群馬県医学校」廃校
15年7月	「県立女学校」が本館にて開校
19年3月	「県立女学校」廃校
20年3月	「師範学校附属小学校」が本館に移転
27年4月	附属小学校新築により転出
31年9月	「群馬県物産陳列館」が本館にて開場
43年11月	物産陳列館が移転
44年1月	「群馬県農会」が本館を事務所として利用



昭和3年6月5日	相生村が本館払い下げを申請
6月8日	本館払い下げ許可
9月26日	「相生村役場」として移築工事着工
4年2月25日	移築工事完成
29年10月1日	相生村が桐生市へ合併（本館は桐生市役所相生出張所となる）
34年4月1日	市立相生公民館を出張所内に併設
51年2月3日	重要文化財に指定される
57年3月31日	出張所及び公民館転出
59年1月1日	半解体による保存修理工事を開始
61年3月31日	保存修理工事完了
61年5月1日	桐生明治館となる



以降、平成元年度、平成4年度、平成15年度に部分修理工事が実施される